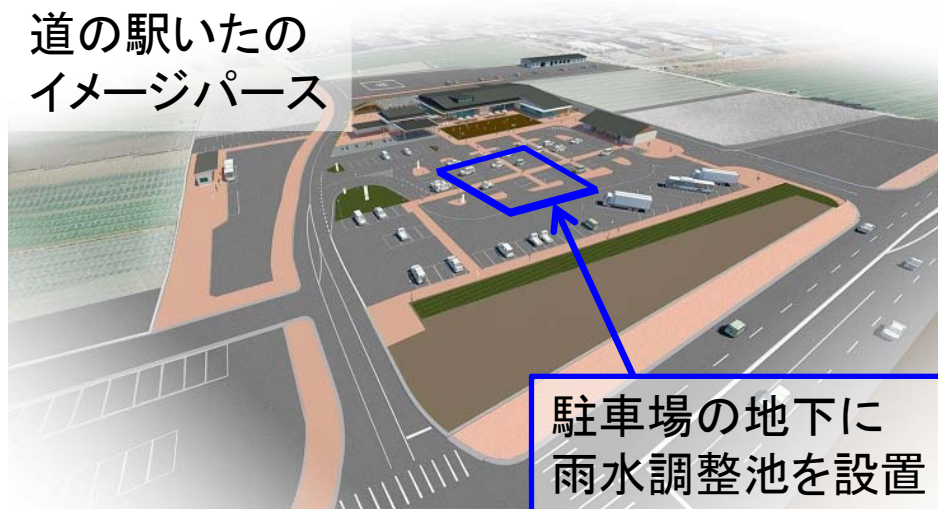


吉野川水系流域治水プロジェクト 【中間とりまとめ(案)】

令和2年9月30日
徳島河川国道事務所

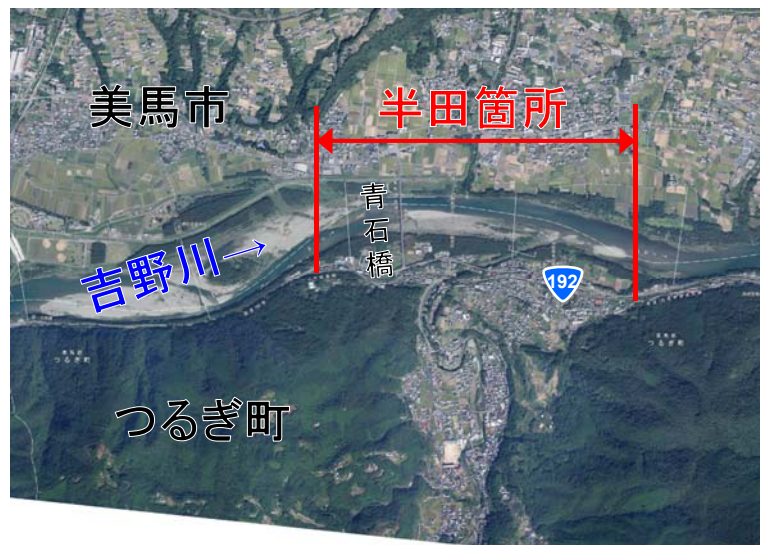
2. 流域における対策(雨水貯留施設整備 道の駅)

○板野町では道の駅の建設に合わせて雨水調整池の設置を実施。雨水の流出を抑制することで、近隣施設への治水対策としています。



2. 流域における対策(土地利用規制 半田箇所)

○半田箇所では、国交省が築堤や嵩上げ等の堤防整備工事を、つるぎ町が災害危険区域の指定及び条例制定を実施することとしており、国とつるぎ町が連携して事業に取り組んでいます。

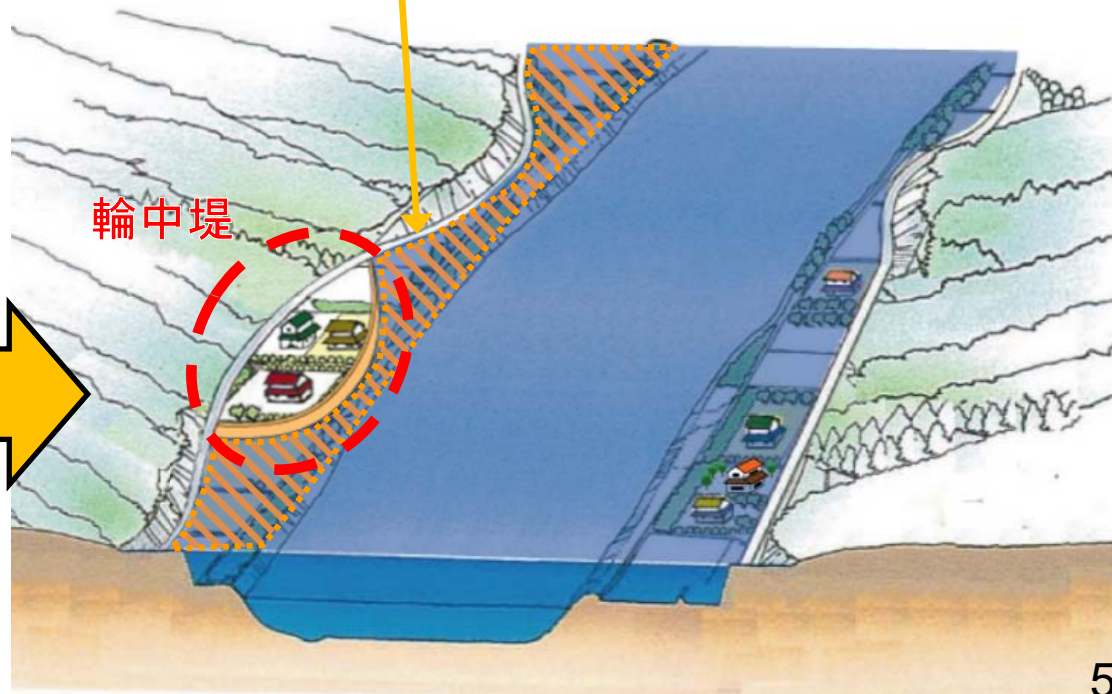
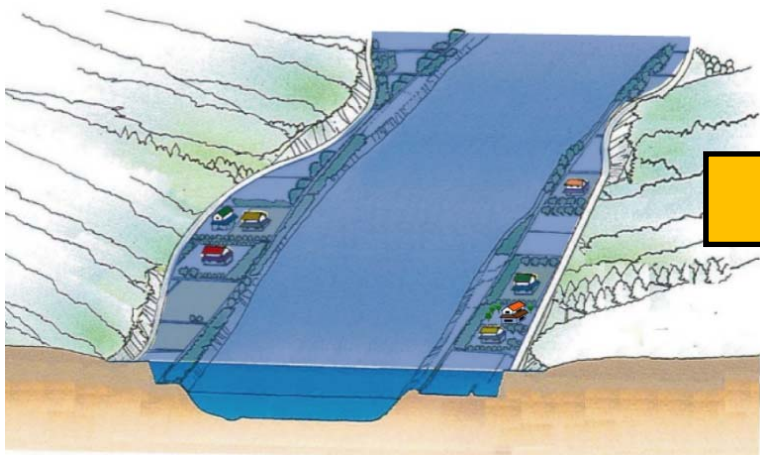


災害危険区域について

地方公共団体が建築基準法第39条の規定に基づき指定
本箇所については、輪中堤整備後も浸水する恐れのある
低い土地に対して災害危険区域の指定を行い、区域内の
建築物を制限することで災害による被害を予防します。

整備後イメージ

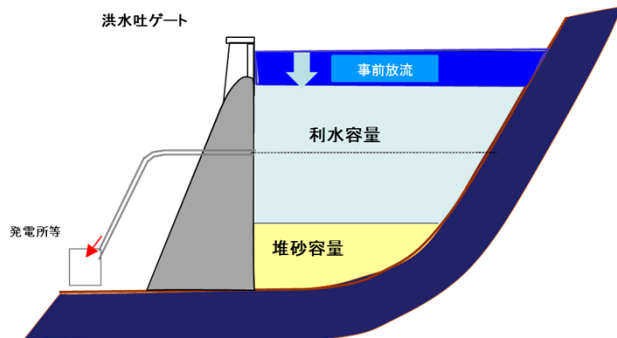
現況イメージ



2. 流域における対策 事前放流(治水協定)

- 令和元年東日本台風(台風第19号)など近年頻発する洪水被害に対応するため、**既存ダムの有効貯水容量を洪水調節に最大限活用**できるよう全国で取組みを実施。
- 利水ダムは、台風や大雨が降ることが見込まれる場合に事前に利水容量を空け、洪水調節に使用。
- 河川管理者は、台風や大雨に関する全般気象情報が発表されたとき等に利水ダム管理者に事前放流を実施する態勢に入るよう伝達し、利水ダム管理者は事前放流を実施するかを判断。
- 吉野川で利水容量を洪水調節に利用できるダムは、**16ダム**。
- 利水16ダムの利水容量を洪水調節に全量利用できれば、**既存ダムの洪水調節容量(12,045万m³)と併せて約1.7倍(20,751万m³)の洪水調節可能容量が確保でき**、吉野川の洪水被害軽減に期待される。
- 利水容量を洪水調節に利用できるよう、**令和2年5月29日に「吉野川水系治水協定」締結**。

利水ダムの事前放流のイメージ



利水ダムの洪水調整可能容量

ダム	洪水調節容量 (万m ³)	洪水調節可能 容量※(万m ³)	基準降雨量 (mm)
柳瀬ダム	760	440	174
池田ダム	440	0	-
早明浦ダム	9,000	2,334	265
富郷ダム	1,250	375	181
新宮ダム	500	107	163
宮川内ダム	95	23	194
三縄ダム		35	148
名頃ダム		45	148
若宮谷ダム		5	148
松尾川ダム		514	148
大橋ダム		453	178
長沢ダム		997	178
大森川ダム		859	178
穴内川ダム		1,774	148
稲村ダム		513	178
汗見ダム		0	-
別子ダム		229	181
夏子ダム		3	87

※水利用への補給を行う可能性が低い期間等において水位を低下させた状態とする貯水池運用を行うことにより確保可能な容量を含む

吉野川水系治水協定

